

こんな姑息なやり方で一年を締めくくるとは

ポーニョ、ポニョ、ポニョ、さかなの子、って、どう見てもさかなに見えないし、EXILEという人たちの後列の方々の歌声がどうも聞き取れない、のは、やはり年のせいだろうか、年の瀬だからだろうか。

更新状況は年を追うごとに悪化の一途をたどっている。これで、来年も月2回更新すると宣言しても、誰の目にも魚の目のごとくタコな話である。来年からは慎ましく月1回を目指すのが、イカにも大人というものだろう。

今年のひとりごとを見返してみると更新状況は目を覆うばかりだが、あっという間に一年が過ぎた気がしない。四十肩に苦しみ、酔っぱらって駅の階段で血だらけになったのが、今年だったとは。あまりにもいろんなことがあって、脳の時間認識速度が追いついていないのだ。

それにしても、何が更新を妨げているのが、自分でもよくわからない。たまに悪魔が枕元に現れて、更新するな、と言っている気がする。更新しようとキーボードに向かうと金縛りに遭っている気もする。来年は何とか悪と戦いながら、世界平和のために歯を食いしばってひとりごとと思う。

こんな更新状況なのに暖かいお言葉を寄せてくださった方々（ご著書読みましたと言われるより何となくうれしいのはなぜだろう）、自分が忘れてしまってる頃まで四十肩と腫れた唇を心配してくださった方々（もう元の美形と筋肉美です）、気に入らないかもしれないのにお気に入り登録してくださった方々（解除しないで）、ありがとうございました。来年もよろしく願います。来年は明日です。